

新型コロナウイルス感染症に係る 感染段階レベルの判断等について

1. 感染段階レベルの引き上げについて

- 本県では、6月下旬以降、新規感染者数が増加傾向で推移しており、直近では先週比1.5倍増という状況にあります。
- また、感染段階の判断に用いる「病床使用率」も徐々に増加し、県全体では12.6%（7/7公表時点）と依然としてレベル1の水準にあるものの、佐世保市では、高齢者施設や医療機関でのクラスターの影響等により、7月4日には病床使用率※がレベル2-1の基準（20%）を超過したところであります。
- このため、佐世保市については、その後の状況を注視してきたところですが、高齢者施設等でのクラスターの発生はないものの、感染者の全体数が増加する中で、その後も入院者数は増加し、7月7日時点では、26.1%と、さらに病床使用率※が増加したところです。
- 新たなクラスターが多発している状況にはないものの、県全体の新規感染者が増加傾向にある中で、入院者の約8割を占める60歳以上の感染者数も増加傾向にあることから、今後も佐世保市については、一定の入院者が継続して発生するものと考えております。
- そのため、本日から佐世保市の感染段階レベルを2-1に引き上げ、警戒警報を発令します。（県全体の感染段階レベルは1を維持）

※は佐世保・県北医療圏の病床使用率

2. 県民の皆様へのお願い

更なる感染拡大や医療提供体制のひっ迫を招かないよう、佐世保市にお住まいの方や佐世保市と往来される方におかれては、以下の対策の徹底をお願いします。

また、その他の地域の皆様にも、引き続きご協力をお願いします。

- ①基本的な感染防止対策の徹底(マスクの着用・手指消毒・三密回避・こまめな換気)を
- ②会食の際は認証店を利用し、マスク会食や密にならない工夫など感染防止対策の徹底を
- ③高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接する際は、家庭内であってもマスクを着用※するなど、感染防止対策の徹底を
- ④自らの健康や家族・仲間などの大切な人を守るため、ワクチン接種へのご協力を
- ⑤体調が少しでも悪いときは、外出・登校・登園を控え、すぐに医療機関に電話で相談を

※熱中症を防ぐため、屋外では人と近くで会話をするとき以外はマスクを外しましょう